

新年のごあいさつ

トキと共に 羽ばたく 飛躍の年に

佐渡市長
高野 宏一郎



新

年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまには健やかに新春をお迎
えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年の2月には、今まで経験したことのない風浪災害が佐渡を襲い、いまだに復旧事業が続いています。また後半には世界を襲った金融恐慌がこの島をも暗雲で覆っています。議会と一緒にいくつかの対策は打ち出しましたが、まだまだ心配の種はつきません。ところで昨年は佐渡市にとって記念すべき年でした。9月25日のトキ試験放鳥は、ひとたび自然界から姿を消した種を野生に復帰させるという壮大なプロジェクトの序章でした。

まだ余韻さめやらぬ翌9月26日には「金と銀の島佐渡」が世界遺産暫定一覧表に記載される、との朗報が飛び込んできました。全島民の気持ちが一瞬開いた瞬間でした。今後、県の協力を得て諸問題を解決し、本登録を勝ち取るつもりです。また、いま話題の東京羽田乗り入れ枠獲得と空港2000メートル化に県とともに全力を挙げます。

トキの試験放鳥に象徴される「美しく、環境にやさしい島づくり」の進展は着実に産業振興にも結びついています。昨年からスタートしたトキの餌場づくりと付加価値米を狙った「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」は超人気です、いち早く佐渡米は市場で高価で売られ切れました。今年の作付けは、昨年比倍増を目指します。

洞爺湖サミットの晩餐会を飾った大佐渡北部の杉の自然林は、環境の島のイメージをいやが上にも高め、それらの相乗効果を漁業などの1次産業、観光産業、製造業にも行き渡らせなければなりません。また新しい年は佐渡病院の建設や、お年寄りにも安くて使いやすバス交通への転換など、解決すべき課題が山積しています。市民の皆さんと十分に意見交換しながら着実に前進させたいと考えます。

今年の3月で合併からまる5年、ここで改めて心を引き締め、限られた資源、財源の中で、最大限の市民サービス実現に努めてまいります。景況の不安はあるものの、今までに無く明るい展望の中、新たに迎えたこの年が、皆さまにとりましてもトキと共に羽ばたく飛躍の年となりますよう心から祈念しまして、新春のごあいさつといたします。

